

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立本村小学校 第2学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字のテストなどは意欲的に取り組むが、既習の漢字を文の中に取り入れて書くことができていない児童が20%以上いる。 ・内容を正しくとらえて、文章を読み取ることに課題の見られる児童が30%程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の例文と合わせて漢字を覚えるように指導をする。国語タイム等を活用して、繰り返し学習することで、90%以上の児童が定着できるようにする。 ・毎日の宿題での教科書の音読や読書句間の活用などを通して、読書量の充実を図り、読解力を育む。授業の中で意図的・計画的に音読をする機会を増やす。80%程度の児童が必要な読解力を身に付けるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数の仕組みについて理解できていない児童が20%程度見られ、数の大きさや量感を養う経験の差によるものと推測する。 ・既習事項の定着に課題が見られ、2年生の学習内容まで進むのに時間がかかる児童が半数以上いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・量感を養うために具体物を操作する活動や、かさや長さを体感する活動を学習活動で計画的に多く取り入れる。90%以上の児童が定着できるようにする。 ・算数タイムや授業の始めの活動で復習したり、復習プリントを行ったりする。授業の導入で、既習事項の確認を丁寧に行い、定着が不十分な児童も困り感が少ないようにする。
生活科	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生との交流、植物の育ちなどの活動を通して身の回りの事象に関心をもち、すすんで関わることに課題の見られる児童が20%いる。 ・体験したことや、観察して気付いたことを表現することに課題の見られる児童が30%程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に行うことで、1年生と有意義な時間をもったり、植物の成長を観察したりすることで、90%以上の児童が身の回りの事象に関心をもち、すすんで関わるようにする。 ・他教科との連携を図り、技能を高めながら表現活動に慣れさせ、表現することの楽しさを味わわせ、80%以上の児童が楽しんで表現できるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちや行動を通して道徳的価値に迫るが、自分のこととして考えたり登場人物に共感したりすることに課題の見られる児童が30%程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物と似たような体験を想起し、そのときの心情を振り返ったり、友達の発言を聞いて様々な考えに触れたりして、道徳的価値に迫れるようにする。